

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

AYA 世代の側弯症手術を受ける患者・家族との関わりにより、入院生活や手術に対する負の感情を軽減する事を目標とする研究～「側弯症ノート」の再活用を通して～

### 2. 研究責任者(当院)

所属：A3 病棟

氏名：神谷 朱美

#### 共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：該当なし

代表名：該当なし

### 3. 分担研究者

所属：該当なし

氏名：該当なし

### 4. 研究対象者

2021年8月1日～2021年10月30日の間に、聖隷佐倉市民病院において〔10代の側弯症手術〕をうけた患者、または受ける患者。

### 5. 研究の必要性

- ・コロナ禍で面会制限のある10代の側弯症手術をする患者と家族にとって入院生活の不安ははかりしれない。その負の感情を軽減する為にどのような支援が効果的なのかを知り、今後の看護に活かす。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究は所属施設の倫理委員会の承諾を得て行う。

- ・入院時に患者・家族に今回の研究に関しての協力依頼を説明、また、「側弯症ノート」についての詳細を説明した上で協力は自由意思であり、参加、協力の拒否権があること、研究に同意しない場合や途中辞退があっても不利益を被ることがないことを説明し、同意書をもって同意を得る（未成年者は親の同意を得る）

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：小笠原 祐美

対応時間：9時～17時

#### 共同研究において専用窓口がある場合

該当なし

#### ※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。  
お問合せは、本研究に参加された方と  
研究関係者のみで、その他の方へのご対応  
はできませんので、予めご了承願います。